

# しんめいばら

回 覧

第 186 号  
2020.10.20

## 定期整備!

十月十一日(日)台風十四号が通り過ぎ、快晴の朝が訪れ会員十二名の参加により定期整備を行いました。十一月に入ると花苗植栽が予定されているため、花壇の耕うん、新しい培養土の追加や化成肥料の混ぜ込み作業などを分担して行いました。このところ男性会員が体調不良で参加できない方も数名あり、女性会員が鍬を振り上げて重労働に携わることになり、何とか作業を完了することが出来ましたが、今後会員の若返りが必要であることを改めて痛感しました。



腰を痛めないように!

## 公園集会所!



掘り起こされたケヤキの根!

九月二十七日(日)集会所建設地にある大木のケヤキ他の伐採作業が行われました。朝八時ごろから作業が始まれ、業者の重機二台と共に自治会員のご協力による一台がフル回転をして次々に枝が切り落とされました。午後からは驚くほど太く生えた根の切断作業が続き、掘り起こしも無事完了しました。この間若手を含む自治会有志二十名により伐採された枝の切断、整理、運搬、細かい枝葉の清掃などが行われました。いよいよ建設が始まりますので、ご期待下さい。

## 豆知識!

『モチノキのややこしい話』

神明原公園では、外周部の植え込みの中に数本あるモチノキ。高さ三メートルほどの常緑樹です。今、一センチほどの実が赤く熟して陽に映えています。よく見られるモチノキといわれる木は、二種ありますが、この名前がややこしいのです。日本で統一されている呼び名は①「モチノキ」(実が大きい)②「クロガネモチ」(実が小さい)です。それ以外に方言のような呼び名が各地にあります。②をモチノキと呼び、どちらもホンモチと呼ばれることがあります。そのほか多くの呼び名がありますが、説明するほど混乱するのでやめておきます。とりあえず公園にあるものをモチノキと憶えればいいのですが、一歩公園の外にでるとクロガネモチが多いので要注意です。



モチノキの実は、クリスマスのヒイラギと同じモチノキ科であることを連想させる

## 今日の公園!



今年もダリアが!

## お知らせ!

- 十一月の公園整備は一日(日)、十五日(日)です。花苗植栽、除草、清掃、などの作業を行います。
  - 十一月の回収、ビン・缶は二十四日(火)、古紙は二十二日(日)です。自治会の回収活動にご協力下さい。
  - 高松神明原公園愛護会は現在十九名の会員により公園の美化活動に取り組んでいます。自治会員に限らずごなだでも入会が出来ますので、ぜひご参加下さい。
- 連絡先・二三七五一八一 山本まで